

くみあい水稲育苗粒状培土

# いばらき培土



いばらき培土は、

- ☆ 健苗をつくります。
- ☆ 省力できます。
- ☆ 安心です。
- ☆ 経済的です。

茨城県  
専用培土

腐植酸苦土肥料

# アツミン配合

1袋 20kg

供給：JAグループ 発売：JCAM ジェイカムアグリ株式会社

製造：茨城くみあい培土株式会社

## いばらき培土

## ●特長・性状

- いばらき培土は、健苗・省力・安心・経済的をモットーとした皆様の培土です。
  - いばらき培土は、粒ぞろいが良く使いやすい培土です。
  - いばらき培土は、頁岩と赤玉土を主原料として、育苗に必要な肥料を均一に配合し、造粒された水稻育苗専用培土ですので、きわめて省力的に健苗を育成することができます。
- ◆肥料：育苗箱1箱当り **チッソ1.4g リンサン2.4g カリ1.4g** を配合してあります。
- ◆pH：育苗に適した **4.5~5.5** に調整してあります。
- ◆重量：1袋20kgです。1袋で7箱が基準です。

## ●使用方法

※は種前後の灌水は十分に行ってください。

作業内容	手順	注意
1 育苗箱の準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>●育苗箱は良く消毒してください。</li> <li>●木箱の場合、使用前に十分吸水させて下さい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●カビ発生は箱の汚れによる場合が多いとされています。</li> <li>●木箱の吸水不足はタコ足の原因になります。</li> </ul>
2 床土の箱詰	<ul style="list-style-type: none"> <li>●育苗箱に培土約1.8~1.9kgを入れ、ならし板で平らにします。</li> <li>●箱底から培土がこぼれる場合は紙等を敷いて下さい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●育苗箱に培土を入れた状態で長い間放置すると培土が過乾燥になり、灌水で粒が崩壊しやすくなるため注意して下さい。</li> </ul>
3 は種前灌水	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ていねいに床土の表面に水が一時たまる程度に約1.3~1.5ℓ灌水して下さい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●灌水不足は根上りの原因になります。</li> </ul>
4 は種	<ul style="list-style-type: none"> <li>●良く消毒した、はと胸程度の催芽モミを水切り後、均一にまいて下さい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●モミの重なりや厚まきは、覆土の持ち上げや出芽ムラになります。</li> </ul>
5 は種後灌水	<ul style="list-style-type: none"> <li>●平らなところでモミが均一に落ちつくようにして下さい。0.5~1.0ℓが目安です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●は種後の灌水によりモミが均一に並び、出芽が揃います。</li> <li>●モミの片寄りをなくすため、手早く行うのがコツです。</li> </ul>
6 覆土	<ul style="list-style-type: none"> <li>●水引きを確認して種モミがかくれるまで、約1kgを均一に覆土して下さい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●少なすぎる覆土では、モミの露出が ocorrência やすくなります。</li> <li>●覆土後の灌水は絶対にしないで下さい。</li> </ul>
7 出芽管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>●育苗器の温度は28~30℃を基準にし、充分な湿度を保つようにして下さい。</li> <li>●2~3日で均一な出芽が得られます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●温度が低いと均一な出芽が得られません。</li> <li>●乾燥しすぎは覆土の持ち上がりにつながります。</li> </ul>
8 緑化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●幼芽が8~10mm位に伸びた時、育苗器から取り出し灌水して下さい。</li> <li>●緑化期間中は強い日光は避け、温度は15℃以下にならないように注意して下さい。</li> </ul>	
9 硬化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日当たりの良い平らな場所で、充分日光に当て温度は10℃以下にならないように注意して下さい。</li> </ul>	

※これは基準量ですので、栽培条件（土壌・品種・栽培地域など）により適宜増減して下さい。

詳しくは、最寄りのJAにお問い合わせ下さい。